

津南警察署協議会議事録

令和8年度第1回津南警察署協議会	
日 時 場 所	令和8年6月19日（金）午後1時30分～午後2時50分 津南警察署2階大会議室
出 席 者	1 三重県公安委員会委員 志田幸雄委員 2 警察署協議会 11名 荒川裕子委員、稲森三也委員、岩脇里司委員、金児由美委員、川俣佳彦委員、岸 富喜委員、鈴木洋一委員、中西章子委員、前川浩一委員、前山都子委員、山中理恵委員 3 警察署 10名 署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長、刑事第一課長、刑事第二課長、交通課長、警備課長
傍聴者数	なし
公開・非公開の別	公開
議 事 概 要	
1 公安委員会委員挨拶 2 警察署長挨拶 3 警察署幹部紹介及び警察署協議会委員自己紹介 4 会長、副会長の選出及び挨拶 警察署協議会委員の互選により、会長に稲森委員を選出した。会長が川俣委員を副会長に指名した。 5 管内治安情勢（警察署長） (1) 津南警察署の組織構成及び管轄区域 (2) 刑法犯認知・検挙件数 (3) 特殊詐欺認知・検挙状況 (4) 人身安全関連事案対応状況 (5) 暴力団・薬物犯罪検挙状況 (6) 交通事故発生状況 6 協議内容 (1) 特殊詐欺対策について <委員> 特殊詐欺対策アプリの話があったが、有料か。 【署長】 無料である。AndroidもiPhoneも対応している。 <委員> だまされた振り作戦は、津南警察署でも実施しているのか。 【署長】 県警を挙げて、全体で対応している。管内でもそういった対応ができる場面があれば実施することもある。 (2) 薬物事犯について <委員> 昨年中の薬物犯罪の検挙件数は18件で、外国人による犯罪が多かったと前回の協議会で聞いた。年末に多く検挙していたと思うが、本年に入って検挙が少ないのはその影響なのか。	

【署長】 特段、年末に検挙したから今年は少ないというわけではないが、関連情報があって一挙に複数検挙できるということはある。当然そういった薬物の情報があれば、検挙していく。

(3) 自転車の交通ルール等について

＜委員＞ 自転車の車道通行は、場合によっては自動車と自転車の事故の発生にも繋がると思うが、自動車と自転車の棲み分けはどう考えるか。

【署長】 自転車の交通環境については、他機関と協力していく必要がある。自転車道の整備等を含め、検討を進めていく。

＜委員＞ 自転車に対する青切符の検挙はあるのか。

【交通課長】 県内では、松阪署管内で1件実績がある。当署管内ではまだ検挙はないが、指導警告カード等を活用して積極的に指導している。

＜委員＞ 自転車が車道を走るとは、日本の道路環境下において本当に正しいと言えるのか。自転車と歩行者の事故より、自動車と自転車の事故の方が大きな事故になるのではないのか。

【署長】 自転車は軽車両という分類なので、本来車道を走る乗り物である。自転車と自動車の事故が特段多いということはなく、自転車を車道通行させなければ、事故が減るとは一概に言えるものではないことを御理解いただきたい。

(4) 交通事故発生状況等について

＜委員＞ 交通事故発生状況の話をお伺いして、交通事故の多さに驚いている。津南署管内の発生は他署管内よりも多いのか。

【交通課長】 県内全域で増加傾向にある。昨年と比較して増加した確たる理由については不明である。

【署長】 死亡事故については、県下で前年同期比+10人となり死亡事故多発警報が出ている。県と警察が連携し、対策に取り組んでいる。増加傾向にある理由は一概には言えないが、経済活動が活発になってきていることもあるし、三重県は都会に比べ、電車等の公共交通よりも自家用車の利用が多いことも考えられる。

＜委員＞ 車の性能の向上等も事故件数の減少の一因であると過去の協議会で説明があったが、事故が増加した要因は他にはないのか。

【署長】 車の性能向上や医療の発達が死亡事故の減少に繋がってきたのは確かにある。

高齢者の死亡事故が管内でも発生しており、高齢者の事故が増えているというのはあるが、こういった理由で増えているのかは一概には言えず、説明しがたい。

(5) 子供の安全対策について

＜委員＞ 山村地帯である旧郡部では、人口減少により子供達の集団登下校も少人数となっている中、駐在所員には、安全のための見守り活動等をしていただいて、ありがたく思っている。

一方で、最近、著名人による子供への暴力行為で、その方が逮捕された報道を目にした。親子げんかで親が逮捕されるという印象を持たれると、今後子供達が児童相談所に相談することを躊躇しないかと心配している。

【署長】 児童虐待の関係については、人身安全関連事案の一つにな

7 公安委員会委員講評 8 署長謝辞	るが、これらは人命を第一に考えて積極的に関与している。被害にあってる者を分離するということが大切であることから、逮捕に至ることもある。子供の身の安全を守るために逮捕することもあることは、御理解いただきたい。
備考	報道機関 1 社 2 名